

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

残りたる十有余年有終美

求め乍らの人生なるぞ

●宮古市 太田屋滋

下校時のマスクも緩和素顔だし

大きな声で弾ける姿

●戸田市 久米壽彦

老木よ曲った幹の梅林

巻きつきよりかかり共に生きる

●松戸市 秋元輝美

認知症予防になれば幸いと

カメラで筋トレ俳句で脳トレ

●小金井市 杉中清良

啓蟄に筋肉おちて痩せた友

贅肉ついて太った私

●三重県東員町 木下加津代

研ぎ澄ます風や木の芽をノックして

春の予感をめいっばい浴び

●南あわじ市 小川千富

俳 句

孫ら来て物言い多き春嵐

●神栖市 安澤宏介

ママ友と梅ほころびて子らの声

●小山市 塚野 京

満開の安行桜に人の列

●草加市 長谷部禎子

流水のおもひのほかに軋むなり

●戸田市 篠崎志津子

花いかだカワセミが狩り今朝も冴え

●朝霞市 林 則雄

春隣心弾みし旅チラシ

●東京都大田区 小池弘一

マフラーが望む願いは春一番

●東京都葛飾区 東海洋一

立春や古い上着にさようなら

●武蔵村山市 原野晴光

桜下制服の列師を送る

●平塚市 田中博由

雪嶺を夕日が染めて沈みゆく

●塩尻市 大家協治

春は土手より湧く土筆風子らも

●塩尻市 奥原光夫

福寿草光る黄色に沢の声

●塩尻市 小野正平

風花をふわりと受けて木戸の下駄

●塩尻市 町田まさ子

小犬来て蹴散らし廻る花筵

●富士市 村瀬米子

ゆるゆると何か動めくあす啓蟄

●野洲市 若松能夫

残雪に足踏み入れて雪割す

●福知山市 峠尾 充

卯月くる桜咲く日に旅立ちを

●綾部市 岩瀧憲一